

腹腔鏡下で手術を受けられる患者様へ

疾患名：

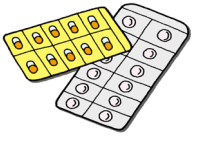
患者様用

患者氏名：

様

受持医：

受持看護師：

月日(日時)	/	手術日	/	/	/	～ 日	～ 日	
経過(病日等)	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日	手術後2日	手術後3日	手術後4～6日	手術7～10日
達成目標	・苦痛や不安を表現できる。 ・睡眠が十分にたれ、手術に備えることができる。	・手術を受けられる。	・手術後、バイタルサインが安定する。 ・嘔気や肩の痛みが出ない。 ・異常な出血がない。	・体動がスムーズになる。 ・尿管を抜去後、自然排尿が順調にある。 ・感染徴候がない。		・放屁が出る。	・排便コントロールができる。 ・感染徴候がない。 ・清潔保持、性生活、社会復帰について理解できる。	・日常生活を自立して過ごすことができる。
治療・薬剤 (点滴・内服) リハビリ	・入院までに飲んでいただいていた薬があればお知らせください。 ・医師の指示で内服や注射をすることがあります。 ・眠前に下剤を飲んで下さい。	・手術前に薬を飲んで頂くことがあります。 	・手術後、点滴をします。 (翌日の朝まで続けて点滴をします) 	・抗生剤の点滴が朝と夕にあります。 ・整腸剤の内服が始まります。				
処置	・診察(4階の内診室) ・手術部位の準備	・早朝に浣腸をします。 ・弾性ストッキングをはきます。 手術時間は で	・血栓を予防するために足にマッサージ器を取り付けます。	・歩く前に足につけているマッサージ器を外します。 ・弾性ストッキングを外します。			・術後6日目(/)に診察があります。 退院が決まります。	
検査			採血		採血	採血(/)	採血(/)	
活動 安静度	自由	自由	術後3時間以降で意識がしっかりしていればベッド上で座れます。	歩けます。(最初の歩行は、看護師が付き添います)	自由			
食事	・夕食後()時から絶食となります。 ※朝食は自宅で食べてきてください。	・食べたり飲んだりしないでください。 水分(:)まで 食事(:)まで	絶食 術後6時間で看護師が腸の動きを確認できたら飲水できます。	朝)全粥 昼)全粥 夕)全粥	普通食もしくは治療食 			
清潔	・処置をした後にシャワーをして下さい。		・陰部を清潔にします。	・タオルで体を拭きます。		・医師の許可があればシャワーをしてください。 		
排泄	トイレ	トイレ	・術後は尿管が入っています。	・歩行ができたなら尿管を抜きます。 ・その後トイレ歩行ができます。	トイレ			
検温	1回(入院時)	手術前	1～2時間毎	4回(6時・10時・14時・19時)		2回(10時・19時)		
患者様及び ご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	・入院時オリエンテーション ・手術前オリエンテーション ・主治医による入院治療の説明 ・主治医による手術説明 ・麻酔科医師の診察 ・手術室看護師の訪問 ・手術後はおむつですが、病棟で準備します。	手術中は家族のどなたかが1Fロビーでおまちください。手術時間は前後の手術の関係上、多少変更することがありますがその都度お伝えします。 	・嘔気や嘔吐、肩の痛みが出た時は、担当看護師にお知らせください。	・服薬の説明 退院は手術後7日目以降になります 		・退院指導(パンフレットを用いてご説明します。) 		

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。